

合通WMS

合通倉庫管理システム

(WMS) とは

お客様のSCM戦略を強力に

サポートする「現場発」の

堅牢なシステムです。



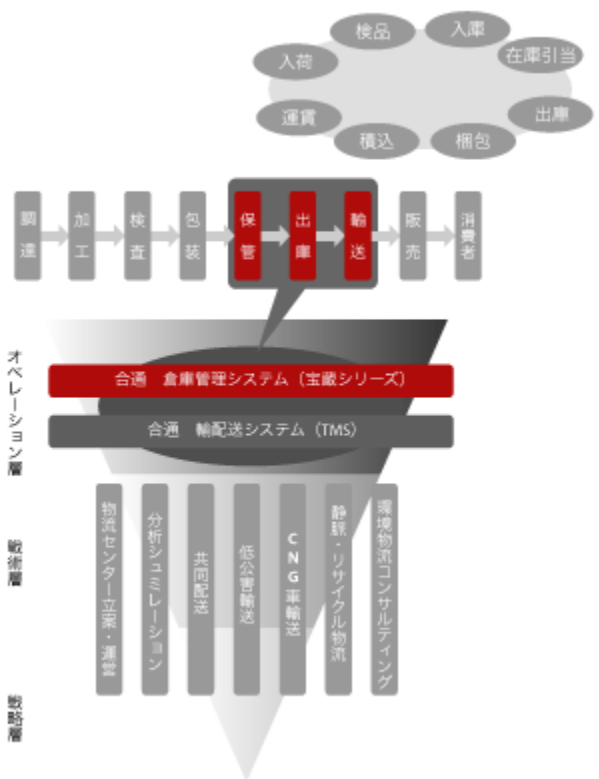
最適化の実現

日々のピッキングにおいて同一ロケーション商品残数を表示することにより、作業者がピッキングと同時に残数確認（棚卸効果）ができます。
 また、データをMicrosoft Access等で加工ができるので、不良在庫、長期在庫が可視化でき、最適在庫の実現が可能となります。
 在庫削減はキャッシュフローのカイゼンに繋がります。



世の中がスピードアップし、商品寿命も短くなっています。倉庫運営は「販売ロスを出さない為、納品率100%を達成する責任」と、「在庫過多になった時に対処する責任」という相反するテーマを解決することが求められています。

逆に在庫が最適化されれば、納品率UPによるクレーム・伝票類の削減力、入出庫保管料、返品作業、棚卸作業等が圧縮され、キャッシュフローの改善＝競争力UPの原資となり、倉庫のプロフィットセンター化が可能となり、また、需要予測の基礎DATAが作成できます。合通WMSはお客様の倉庫能力を創発するすぐれた現場系のマネジメントツールです。

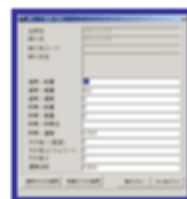


物流費の可視化

合通WMSの特長の一つとして物流費（輸送コスト）の可視化があげられます。通常ベンダー様の提供するWMSは倉庫内をマネジメントする事で完結しておりますが、弊社システムは物流費までも管理します。

タリフ（料金表）マスタを持つことにより、荷主様主体の確認処理を可能とします。

輸送業務と保管業務のマネジメント機能が、総合物流企業である弊社、合通WMSには標準装備されています。輸送業務マネジメントは物流費計算機能という形で反映され、荷主様と物流業者様とのやりとりの確認工程を飛躍的に短縮します。



また、センターコストから物流コスト単体を切り出せる為、積み方や梱包資材変更などの削減取り組み結果がダイレクトに可視化でき、理由ある価格設定が行えます。合通TMS（トランスポートマネジメントシステム）と併用すればより深層化した取り組みが可能です。



各種帳票出力が可能

合通WMSはオープンデータベース機能を共有し、様々な展開が可能となっております。Microsoft Accessを利用し、お客様専用の納品書から請求明細、輸送明細、倉庫明細に至るまであらゆる帳票出力ができます。

データをそのまま使用しているのでミスは生じません。また、データの種類はEDIからテキストDATAまで幅広く対応。お客様の仕様に応えます。

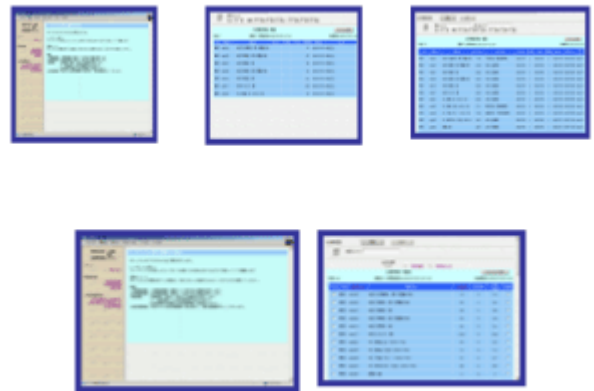
簡単な帳票修正でも時間とコストはかかります。オープンデータベース機能を装備する合通WMSはMicrosoft Accessを利用し簡単に専用帳票の作成を可能にします。また、基幹システムとのDATA連携が容易で拡張性の高い、現場ノウハウが詰め込まれています。



お客様・営業マンも安心

部門間、企業間の情報共有がリアルタイムで可能となります。Web機能により、在庫・入庫情報の閲覧、出荷依頼作成がインターネット環境があれば実現できます。また、出先から営業マンがその場で在庫状況を確認でき、ビジネスチャンスが広がります。

合通WMSはインターネット環境があれば「入荷・出荷履歴照会」「在庫照会」「商品画像表示」「出荷依頼入力」「DATAダウンロード」の機能が利用できます。これにより、部門同士、会社同士の情報共有が可能となります。結果、在庫、入出荷の問い合わせ業務等が飛躍的に減り、ビジネスのスピードがあがります。



●主要機能

BASE		WEB
IMPORT	EXPORT	INTERNET
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷予定データ取込 ・ 入荷予定入力 ・ 入荷実績入力 ・ 入荷実績リスト ・ 入荷実績データ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出荷依頼データ取込 ・ 出荷依頼入力 ・ 在庫引当 ・ 未引当明細 ・ ピッキング ・ 梱包 ・ 積込実績入力 ・ 内容明細付きラベル ・ 出荷実績リスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷履歴照会 ・ 出荷履歴照会 ・ 在庫照会 ・ 商品画像表示 ・ 出荷依頼入力 ・ データダウンロード
<p>OTHER</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梱卸 ・ 作業進捗管理 ・ 分析 ・ 製品一括変更 	<p>ADD IN</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バーコード対応 	

